

『所有者等による検証』

新耐震木造住宅検証法による所有者チェックシート（2000年5月以前新耐震基準用）

【問合せ先】〒460-8508

（住所） 名古屋市中区三の丸三丁目3-1-1

（担当） 名古屋市住宅都市局耐震化支援課（西庁舎3階）

（電話） 052-972-2921

【新耐震木造住宅検証法とは】



ステップ1 「新耐震木造住宅検証法」の対象となる住宅かチェック

1 1981年6月から2000年5月までの間に建てられた木造住宅ですか？ はい いいえ

2 在来軸組構法の住宅で基礎がコンクリート造ですか？ はい いいえ
（よくわからない・基礎がコンクリート造ではない）

3 平屋建て、または2階建てで、全ての階が木造ですか？ はい いいえ
（3階建て・1階が鉄筋コンクリート造または鉄骨造）

はい（建築年月： _____ 年 _____ 月）

はい（平屋建て・2階建て）

ステップ2の「所有者等による検証」へお進みください。

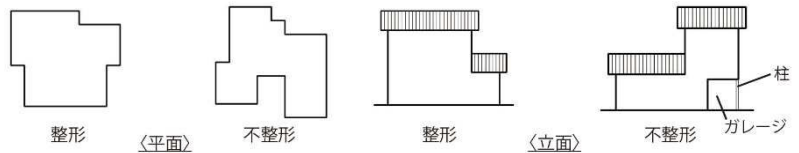
新耐震木造住宅検証法の対象外
 （無料耐震診断も対象外）

ステップ2 所有者等による検証

チェック1 平面形状、立面の形状は整形ですか？

はい（比較的整形です）

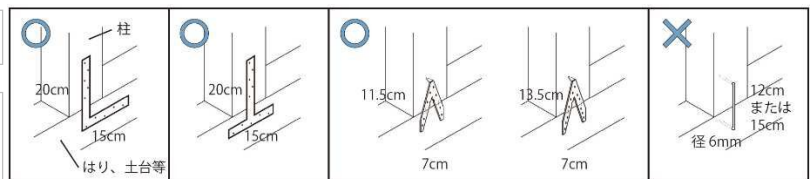
いいえ（不整形・よくわからない）



チェック2 柱とはりの接合部に接合金物が使われていますか？

はい（金物が使われている）

いいえ
（接合金物が使われていない・よくわからない）



（裏面へ続く）

本チェックシートは、（一財）日本建築防災協会発行「一昭和56年6月から平成12年5月までに建築された一木造住宅の耐震性能チェック（所有者等による検証）」に基づき、愛知県内で実施する木造住宅無料耐震診断で使用するものです。

『所有者等による検証』

ステップ2 所有者等による検証（続き）

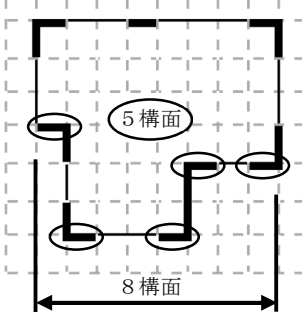
チェック3 1階の外壁面（4面）で、窓やドアなどの開口のない壁の長さの割合は0.3以上ですか？

はい（すべての面で0.3以上である）

いいえ（ひとつの面でも0.3未満がある・よくわからない）

(計算例)

平面図



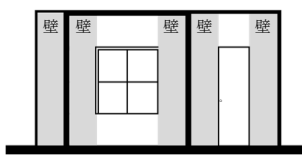
5 構面

8 構面

$5 \text{ 構面 (壁)} \div 8 \text{ 構面 (全面)} = 0.6$

≥ 0.3

立面図



チェック4 劣化のチェック 合計 _____ 点

		1点	0点
イ	外壁	ひび割れや剥落、水浸み痕、こけ、腐朽などが全くない。あるいは、定期的にメンテナンスを行っている。	ひび割れや剥落、水浸み痕、こけ、腐朽などがある。
ロ	屋根	瓦やスレートが健全で、棟や軒がまっすぐで波打ったりしていない。あるいは、定期的にメンテナンスを行っている。	瓦やスレートが割れたり、棟や軒が下がったり波打ったりしている。
ハ	基礎	ひび割れが無く健全である。あるいは、定期的にメンテナンスを行っている。	ひび割れが散見される。
ニ	床	傾斜が無く、大きなたわみや振動が無い。あるいは、リフォームを行っている。	傾斜がある。または過度のたわみや振動がある。
ホ	浴室	ユニットバス。あるいは、リフォームを行っている。	タイル貼りなどの在来浴室。

ステップ3 所有者等による検証結果

回答結果	判定（いずれかに○）
ステップ2のチェック1～3でひとつでも「いいえ」がある、 またはチェック4で3点以下の場合	専門家による検証が必要 (専門家による無料耐震診断の対象)
ステップ2のチェック1～3ですべて「はい」 かつ、チェック4で4点以上の場合	一応倒壊しない <small>※地盤については考慮していない</small>

本チェックシートは、(一財)日本建築防災協会発行「一昭和56年6月から平成12年5月までに建築された一木造住宅の耐震性能チェック（所有者等による検証）」に基づき、愛知県内で実施する木造住宅無料耐震診断で使用するものです。